

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

今治造船株式会社広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市幸崎能地2丁目1-1

(3) 業種

3131 船舶製造修理業

(4) 事業所位置図

別紙1のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和1年度から令和4年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本方針

今治造船株式会社広島工場は船造りを通じ、事業活動・製品・サービスに関して地球環境との調和を経営の最優先課題の一つとして取り組み社会に貢献する。

2. 行動指針

- (1) 環境上の課題を継続的に改善するために、環境目的及び目標を具体的に定め定期的に見直しを行い、達成するための実施計画を構築、運用する。
- (2) 環境にかかわる法規制、条例及び同意するその他の要求事項を順守するとともに必要に応じて自主基準を定め運用する。
- (3) 事業活動の各領域において、省資源・省エネの推進・廃棄物の削減及び汚染防止を優先的に取り組み、環境保全の向上に努める。
- (4) 社内に「環境委員会」を設置し、環境保全に関する役割と責任を明確にするとともにこの方針を協力会社を含む全従業員に周知させ、理解と協力を要請する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成30年度	平成29年度
二酸化炭素	43,455	41,349

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 30年度年度	平成 29年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF6) (NF3)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (令和 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				
非エネルギー起源CO2				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**溶接用ワイヤ-量 (t)**

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和4年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	43,455	1,909	22.76	4.0	43,000	1,968	21.85
非エネルギー起源CO2	—	—	—	—	—	—	—
メタン	—	—	—	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—	—	—	—
フロン類	—	—	—	—	—	—	—
総排出量	43,455	1,909	22.76	4.0	43,000	1,968	21.85
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	15,992	1,909	8.38	4.1	15,830	1,968	8.04
目標設定の考え方	CO2排出量をワイヤ-使用量 (仕事量) にて割、原単位産出削減目標とする。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	高圧変圧器を順次トプルランナー変圧器に変更	150 t-CO2/年	トランス更新時及び新設時トプルランナートランスを採用
2	照明器具高効率LED照明器具採用	200 t-CO2/年	新設取り替え時、高効率照明を取り付ける
3	モータはインバータモータ採用	30 t-CO2/年	クレーン及びポンプモータにインバータモータ採用
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	ー	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	リサイクル率の向上	リサイクル率の10%向上	リサイクル品全品回収
2	廃棄物排出量の削減	分別回収100%	分別回収の徹底
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙2

(2) 実施状況の点検・評価

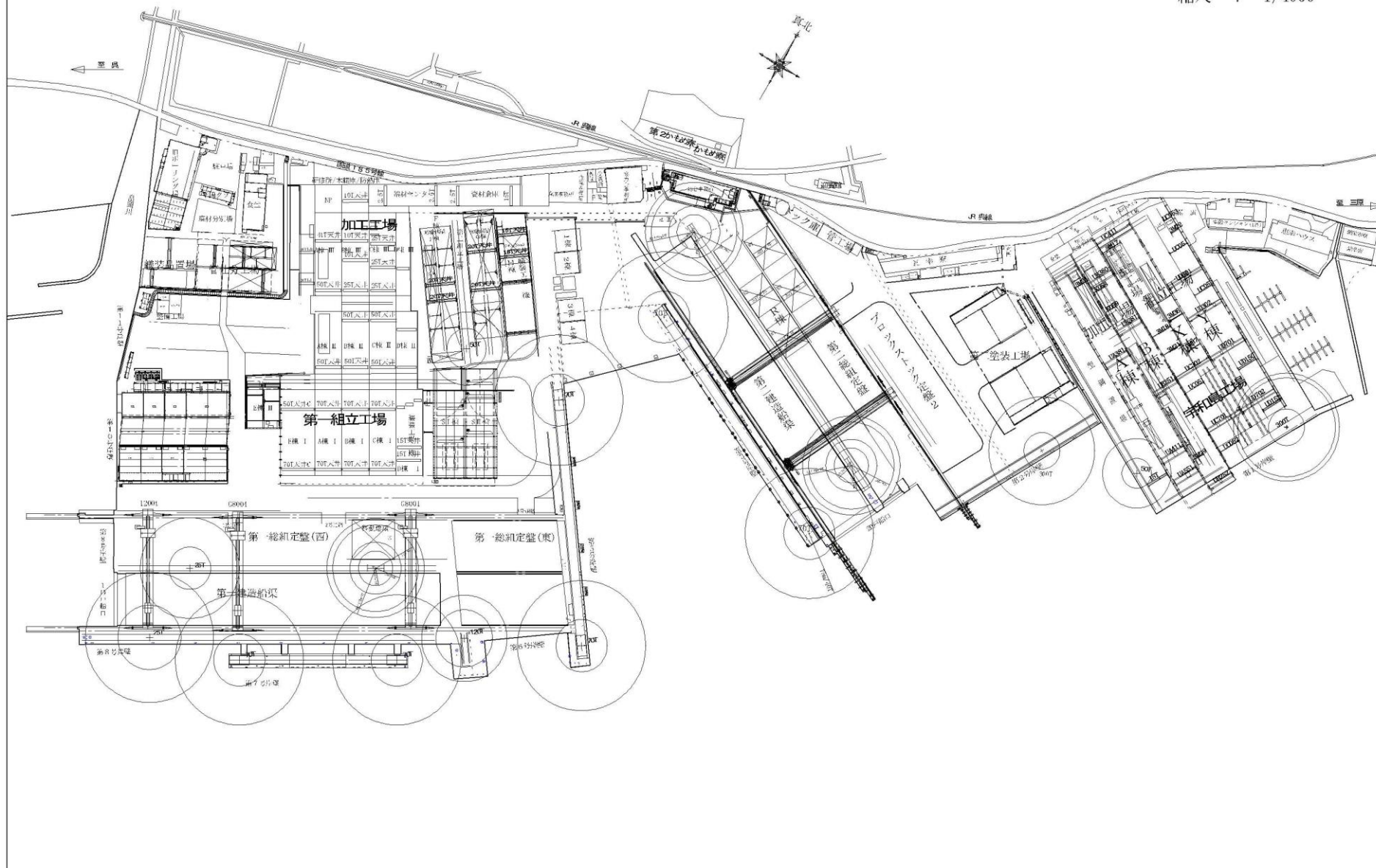
毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、定期的に点検及び評価を行い、問題点の検討・見直し等を行う。

(3) 計画書等の公表

メールにて連絡

別紙1 今治造船株式会社 広島工場 全体配置図

縮尺 : 1/4000



別紙 2 ISO14001環境マネジメントシステム組織図

